

ニュースリリース

障がい者アートを工事現場の仮囲いシートに！
ハンディキャップアーティストへの持続的・継続的な支援につながる
SDGs 仮囲いシートを旧北消防署解体工事現場に設置。

株式会社重藤組(代表取締役:重藤 武士、本社:岡山市南区福成3丁目6番22号、以下:当社)は、これまで、「超・岡山志向」のスローガンのもと、女性・外国人が活躍するダイバーシティの推進や地元スポーツチームの応援振興を通じて積極的なSDGs活動に取り組んでまいりました。

このたび、SDGsへの取組みの一環として、障がい者への持続的な支援につながる「SDGs 仮囲いシート」を、2020年9月16日(水)から旧北消防署解体工事現場に設置いたします。

仮囲いシートは、岡山市表町に本社をかまえる就労継続支援A型事業所「ありがとうファーム」(以下:ありがとうファーム)と、ライセンス契約を結び、ライセンス料の70%はアートを描いたハンディキャップアーティスト本人の収入につながる仕組みです。「障がい者の継続的な収入向上」と、「工事現場の景観イメージアップ」を目的としています。「ありがとうファーム」との障害者に対する継続的な支援は、岡山市で初めての取り組みです。



全長18メートル、高さ1.8メートルの仮囲いシートには、ハンディキャップアーティストの作品が4作品使用されており、「知ることは、障がいをなくす。」というメッセージとともに、各作品に対応したQRコードを読み取ることで作者の今までの人生に触れることができます。当社は、地域の皆様とともに住み続けられる街づくりを目指し、これからもSDGs活動に取り組みます。

【SDGs 仮囲いシート設置場所】

旧北消防署解体工事現場(岡山市北区東古松1-1-34)

【SDGs 仮囲いシートイメージ】



【本件に関するお問い合わせ先】 株式会社重藤組 総務部 小松原

TEL:086-263-8811 メールアドレス:komatsubara@shigeto.jp